結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行　第二号
甲府市北口一―二―一九
甲府地方法務局人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助け合いのこと。土くさくあたたかいことばです。

財政基盤確立へ白熱の議論
関東ブロック研究会・総会

去る六月十七日・十八日の両日、平成十六年度の関東人権擁護委員連合会研究会、定期総会が、梅雨空の下、新潟市で開催された。

各都県より四百数十名、山梨県連より丸山会長以下十三名が参加した。

研究会前半は憲法学者、司法制度改革審議会会長として高名な近畿大学教授、佐藤幸治先生の講演会であった。演題は「人権は日本の国民にとって何であったか―これからの日本の社会のあり方を考える―」である。明治憲法から日本国憲法に至る歴史を通して「人権」とは何であったかを振り返り、日本国憲法十三条こそ基本的規定であり、憲法を支える核でもあると強調なさった。

後半は全連からの「人権擁護委員組織体の財政基盤確立の具体的計画案」の基調提案を基に、分科会毎に白熱した議論が展開された。（県連よりの送付資料参照）

二日目の定時総会の議事の随所にこの議論が反映され、時期尚早論等、反対意見も多数出たが、結果的に「計画案」の方向で集約された。

尚、議事に先立って連合会長表彰者（本県関係十一名）が発表された。

本会の内容の詳細については、後日送付される「内容報告書」及び「かんとう人権」を参照されたい。

（文責　神宮寺安子）

積極的な活動を

人権擁護課長　田畑恵一

委員の皆様におかれましては、日頃から、地域に密着した活動を積極的に展開されるとともに、御尽力いただいておりますことに心から敬意を表します。特に、人権の花運動や学校訪問につきましては、皆様の熱意に大いに感銘を受けている次第であります。今後は人権擁護委員制度をさらに理解していただくため、テレビや新聞等のメディアを活用した啓発を展開して参りたいと考えております。よろしくお願いいたします。

盛り上がった啓発活動

八月一日、大月市では「かがり火祭」が、南アルプス市では「サマーフェスティバルinわかくさ」が開催され、それぞれ地道な人権啓発活動が展開された。

「かがり火祭」では、駅からメイン会場までの百メートルほどの間をお揃いのベストを着用した地元委員七名が啓発用うちわとあぶら取り紙を配布して歩いた。今年は大月市が市制施行五十周年記念として、人権うちわを作成したので、祭に配布した三百四十本の他に、八日の五十周年式典の際にも三百二十本のうちわを配布することができた。

「サマーフェスティバルinわかくさ」では、県連が打ち上げ花火を提供したのをはじめ、ぬり絵、金魚すくい、ヨーヨー釣りなど盛り沢山の啓発活動が行われた。合間には、ウォークバルーンの「まもる君」やはるばる長野からやって来た「あゆみちゃん」が、広場を練り歩き、人権の大切さを訴えるなど、啓発活動の一翼を担った。また市長も挨拶の中で、県連の活動をアピールしてくださり、大きな成果をあげることができた。

なお、峡南協議会が行った「南部の火祭り」での啓発活動については、本号「峡南協議会だより」をご覧頂きたい。

高まる常設相談の必要性
―最近の相談状況から―

常設執務体制による常設相談所は、近時、人権擁護機関への人々の期待や関心が高まるなか、人権相談に対する取り組みを強化し、併せて人権擁護委員の活動の一層の充実を図るために創設されたものである。甲府地方法務局本局では、平成六年四月から、月曜日から金曜日を常駐日とする現在の執務体制が取られている。

日々寄せられる相談の件数は少しずつ増える傾向にある。相談内容としては、夫の妻に対する暴行虐待、相隣間の争い、相続問題などが多い。一日の相談件数は平均三件ほどであるが、一件にかかる時間が一時間以上になることもしばしばである。

相談内容の複雑な場合は人権擁護課職員と共に対応している。委員にとってはよい勉強の機会でもあって、常設相談の担当をしてよかったと喜んで帰る委員もある。

（文責　人権擁護課係長）

峡南協議会だより

八月十五日、「南部の火祭り」会場には江川支局長はじめ職員、県連役員、協議会委員、役場職員が勢揃いし熱気溢れる地域ネット人権啓発キャンペーンが実施された。

「ワーイ！人権まもる君だ」「握手したい」等々支局長、高野支局員率先してのまもる君ショーには忽ち人だかりが出来る。

揃いの法被姿の委員たちは人権ブースを拠点に風船、うちわ等啓発物品を手に、笑顔で声かけ広い会場をめぐる。団結の力は強い。大きな手応えの実感できた一日だった。

種は一八〇キロ飛んだ

「人権の花運動」の際、子どもたちがメッセージをつけてとばした風船は、風に乗って、神奈川、千葉に。風船に結んだ花の種を拾った方たちからは、あたたかいご返事をいただいた。

千葉県四街道市の和良小学校では、学校でみんなで育てている、との先生からのお便り。送った竜王南小学校では、クラスで四街道市について学習をしたとのことである。

事務局から

☆研修会について（研修委員会企画）

十　月二十八日・県連講演会
十一月二十五日・二月四日　県連研修会

多くの委員のご参加をお願いします。

☆慶弔規程について

慶弔規程を作ろうという動きに応え、理事会では来年の県連総会に向けて検討をしています。

☆人権作文に関する予定

作文は九月に各協議会で審査し推薦作品が選考委員に送られています。

十　月　十八日　県連審査会
十一月二十五日　中央大会入賞発表
十二月　十一日　県大会表彰式

ちょっと裏話

ウォークバルーンのまもる君―さわやかな笑顔に輝く瞳。正義の味方まもる君は本当に頼もしい存在ですが・・・中はもちろん生身の人間。重いバッテリーを背負い、身動きもままならず。炎天下では三十分が限度とか。でも、子どもたちにとりかこまれる気分は最高だったそうです。ご苦労様でした。

編集後記

法務局の入り口に人権啓発活動の楽しい写真が貼られ、堅苦しい法務局のなかに一陣の風が入ったようです。

いよいよ爽やかな季節、それぞれの場での活動の実りをぜひお知らせください。